キャラクター名: 山内　鈴

プレイヤー名:

シンドローム	ノイマン サラマンダー	ワークス	UGN支部長B	カヴァー	高校生
オプショナル		年齢	18	性別	女
覚醒	犠牲	衝動	破壊	初期侵食率	32 %
出自	権力者の血統	経験	海外生活	邂逅	腐れ縁

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値
肉体	2	0	0			2
感覚	0	1	0			1
精神	4	0	0			4
社会	2	0	0			2

HP	28
行動値	6
(非装備時)	6
戦闘移動	11
全力移動	22

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃	1		ＲＣ			交渉		
回避	1		知覚	1		意志			調達	4	
運転：			芸術：			知識：			情報：UGN	2	
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
		0				

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

合計装甲：	0	合計回避：	0

所持品	
【コネ】	デモンズシード
コネ：UGN幹部	
コネ：要人への貸し	【エンブレム】
コネ：手配師	エヴリシングレディ
	リーダーズマーク
【一般アイテム】	
制服	
携帯電話	
ウェポンケース	
【ユニークアイテム】	

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイタス	消費
特権階級	P 幸福感	N〇疎外感		
間黒雫	P 〇庇護	N 劣等感		
音川律	P〇連帯感	N　不安		
N市	P　好意	N 〇依存		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 12	残り財産P： 8

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果：	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果：	コスト分のHPで復活							
勝利の女神	5	4	オート	視界	単体	自動	100↑	
効果：	判定後に使用時、達成値+[LV*3]							
戦術	5	6	ｾｯﾄｱｯﾌﾟ	視界	ｼｰﾝ(選択)	―	-	
効果：	メジャーアクションの判定D+[LV]							
炎陣	1	2	オート	至近	自身	自動	-	
効果：	カバーリングを行う。1メインプロセスに1回。							
氷雪の守護	4	3+1	オート	至近	自身	自動	1/R	
効果：	自分が受けるダメージを-[LV+1]D点							
吹雪の守護	1	2	オート	至近	範囲(選択)	自動	1/R	
効果：	《氷雪の守護》を範囲(選択)に変更。							
ダイヤモンドダスト	1	3	オート	至近	自身	自動	リミット	
効果：	《氷雪の守護》でさらにダメージ-3D。							
氷の盾	3	2	オート	至近	自身	自動	-	
効果：	ガード値を+[LV*5]する。							
ファンアウト	1	4	ｾｯﾄｱｯﾌﾟ	至近	範囲(選択)	自動	Sn/LV	
効果：	戦闘移動を行う。							
写真記憶	★	-	メジャー	至近	自身	<知覚>	-	
効果：	一度記憶したことを全て覚えている。							
熱感知知覚	★	-	メジャー	至近	自身	<RC>	-	
効果：	サーモグラフィ搭載							
不燃体	★	-	常時	至近	自身	-	-	
効果：	ｴﾌｪｸﾄ以外の炎・寒さﾀﾞﾒｰｼﾞを無効							
効果：								
効果：								

「山内　鈴：ヤマノウチ　スズ」

鈴は父親がUGN本部所属であり、母親は海外のＤ州のUGN支部長であったため、幼少期を海外で過ごした。
"チカラ"に目覚めたのは、友人の死がきっかけだった。彼女を護りたいという意志に"チカラ"が応えたそのときには、
既に友人はこの世の者ではなくなってしまっていた。

その後は両親の紹介で、この国に来て自分と同年代の玉野椿に"チカラ"の使い方を教わった。彼女のことは先輩として尊敬している。
力の制御ができるようになった後は両親のコネで、Ｎ市のUGN支部長に任命された。当然、親の七光りである鈴をよく思わない者もいた。

鈴にとって本当に心が休まる場所は学校だった。
一人の生徒として立場を気にすることなく、対等な関係を築くことができる。彼女はそれが何よりも嬉しかった。
彼女はこの日常を護るため、そのためにUGN支部長として今日も戦い続けている。
「今日も一日頑張りましょう！」

彼女のコードネームはアスセネース<力無き愛>　　※アスセネースは「力のない、弱い、病気の」の意味がある。
彼女自身が攻撃ができず支援に特化していることを示すものであり、同時に彼女一人では無力であるという皮肉でもある。